

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-113	Year Month Day Time 2024 年 5 月 5 日 12 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
東 山		能代科技
142		80
○		●
	33 1st 16 40 2nd 28 40 3rd 14 29 4th 22 0 T	

主審:Crew chief
田中 直幸 秋田
副審:Umpire
武藤 渉 秋田
高橋 嘉史 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県T0委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	松島 慎弥		16	0	7	2	1	4	×	佐藤 悠斗	cap	0	0	0	0	2
5	×	瀬川 琉久	cap	17	2	5	1	0	5	×	畠山 悠仁		4	0	2	0	2
6	×	カンダ マヒカ	サロモン	10	0	5	0	0	8	✓	吉岡 寿吉		4	0	2	0	3
7	×	南川 陸斗		8	2	1	0	0	9	✓	山崎 七星		38	6	10	0	4
8	✓	小野寺 星夢		29	3	6	8	1	10	✓	鈴木 慶人		2	0	1	0	3
9	✓	千葉 颯太		4	0	2	0	1	11	✓	宮田 蒼羽		2	0	0	2	0
10	✓	大本 純弥		5	0	2	1	3	12	✓	近藤 愛翔		2	0	1	0	1
11	×	佐藤 凧		3	1	0	0	0	13	✓	安藤 璃琥		2	0	1	0	2
12	✓	藪 元太郎		16	0	7	2	0	14	✓	名古屋 蒼良		5	1	1	0	0
13	✓	川口 律		15	0	7	1	0	15	✓	熊澤 隼		7	1	1	2	1
14	×	中村 颯斗		11	1	3	2	2	16	✓	下田 瑛斗		2	0	1	0	1
15	✓	ウエタ ブンヤ	エノック	8	0	3	2	0	17	×	金 隼輝		2	0	1	0	1
									18	×	松田 来翔		1	0	0	1	0
									19	×	信太 虹輝		9	3	0	0	1
									20		大嶋 遥佳		-	-	-	-	0
コーチ		大澤 徹也						0	コーチ		長谷川 聡						0
アシ		山崎 健太郎						0	アシ		遠田 貴大						0
合計				142	9	48	19	8	合計				80	11	21	5	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	29	20.42%	小野寺 星夢
2	17	11.97%	瀬川 琉久
3	16	11.27%	松島 慎弥

1	38	47.50%	山崎 七星
2	9	11.25%	信太 虹輝
3	7	8.75%	熊澤 隼

Score ranking[Game]

1	38	山崎 七星	能代科技	2	29	小野寺 星夢	東 山	3	17	瀬川 琉久	東 山
---	----	-------	------	---	----	--------	-----	---	----	-------	-----

2023年U18日本代表瀬川を擁し、昨年インターハイ準優勝の東山に、地元の能代科技が挑む。
1Q、東山は#14中村のジャンプシュートで先制。そのまま東山は得点を重ね、開始5分で15-5の10点差まで広げる。能代科技はたまたまタイムアウトを請求。その後も東山は203cmの留学生#6サロモンにインサイドを固め、オフェンスリバウンドからの得点などで27-12まで差を広げる。能代科技は#9山崎が東山#6サロモンのブロックをかわしシュート、#18松田がスティールに飛び込むなどガッツ溢れるプレーが出るも33-16で終了。
2Q、能代科技はロングパスから速攻を仕掛けるも東山の戻りが早く得点に繋がらない。長谷川コーチからは「遅い」と怒号が飛ぶ。東山は終始安定したディフェンスを見せるが、中でも能代科技#9山崎がマークを振り切ってシュートを決めたり、#19信太が3Pを決めるなどして37-27の10点差まで縮める。しかし東山は#5瀬川を中心に攻撃を仕掛け73-44で2Q終了。
3Q、前半に続き東山#5瀬川の個人技が光るが、他にもオフェンスリバウンドでボールキープ、パス回しから#7サロモンが決めるなど、チームワークの良さも見せる。残り5分、東山が#5瀬川と留学生を下げ日本人だけのチームで試合を進めると、能代科技も5人全員を入れ替え流れを変えようとする。しかし東山は40点を取り113-58で3Q終了。
4Q、点差が開いても能代科技は諦めることなく、少しでも点を取り返そうと必死にボールにくらいつき、能代らしい走るバスケットをする。スピードで会場を沸かせていた#9山崎が3Pを決めるなどするが142-80で試合終了となった。

文責 【 長峰 薫 】